

＜現状認識＞

- 鉱物資源は、我が国産業にとって競争力の源泉であるが、その供給の大宗を海外に依存。
- 市場（価格や需給）動向は、個々の鉱種によって様々。
- 中国やインドネシアの事実上の輸出禁止措置により、一部の鉱物資源は供給リスクに直面。我が国資源関連産業の事業活動にも影響。
- 我が国製錬事業者は、国内ものづくり産業への金属の安定供給等のため必要不可欠だが、様々な課題に直面。

安定供給確保上の課題①:

【海外からの供給リスク】

- 資源メジャーの寡占化
- 新興国における急激な需要の増加
- 資源ナショナリズムの先鋭化
- 新規鉱山開発コストの増大
- レアメタル特有の課題

安定供給確保上の課題②:

【我が国資源関連産業が直面する課題】

- 電力価格の高騰
- 鉱石品位の低下
- 再生資源（使用済製品、スクラップ等）の確保
- 資源系・金属系の人材の確保
- 紛争鉱物や環境等の規制強化

課題解決に向け、鉱種毎にサプライチェーンを分析し、必要に応じた対策を検討・再構築

対応策①: 供給リスクの低減

- 資源国との関係強化（対話の拡大、人材ネットワークの形成、技術協力等）
- 安定買鉱のための支援
- 海外資源開発にかかるリスク低下のための支援（探鉱、ファイナンス、減耗控除等） 等

対応策②: 資源関連産業基盤強化

- 技術的な課題に対応するための産学官一体となった研究開発支援
- 研究開発支援を通じた大学等における資源系・金属系人材の育成
- 国内外の規制当局との対話強化 等